

《担当者名》福祉マネジメント学科全教員

【概要】

演習（ゼミナール）では、教員が提示する学修課題にあわせて所属ゼミナールを決め、教員が示す学修課題と学生が設定する学修課題にあわせ、所属ゼミナールごとに年間の学修計画を設定する。それぞれの学修計画にそって、担当教員の指導のもと「資料収集」「調査分析」「分析・検討」などを行い課題を深める。これらのことを通して、4学年の授業科目「臨床福祉専門演習」「卒業論文」（プロジェクト演習・プロジェクト研究）に繋げる。
なお、各教員の演習内容（学修課題内容）については3学年前期に提示する。その後、希望調査を行い担当教員（ゼミナール）を決定する。

【学修目標】

学生が各自の問題意識・関心のあるテーマについて、これまで学んだ知識や技術を生かし、地域にある問題の解決やニーズの充足に向けての課題の明確化、解決方法の具体化を行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学修内容の紹介、授業の進め方などについて	演習を担当する教員
2	福祉に関する今日的な課題についての検討（1）	福祉に関する今日的な課題について（教員と学生との検討）	演習を担当する教員
3	福祉に関する今日的な課題についての検討（2）	福祉に関する今日的な課題について（教員と学生との検討：「特別キャリアデザイン講座」における内容をも踏まえての検討）	演習を担当する教員
4	課題の設定・検討（1）	学生自らが関心を持つ学修課題について（学生の報告と教員及び学生と検討）	演習を担当する教員
5	課題の設定・検討（2）	学生自らが設定する学修課題について（設定の進捗状況の報告と検討）	演習を担当する教員
6	課題の設定・検討（3）	学生自らが設定する学修課題について（設定の進捗状況の報告と検討の深化）	演習を担当する教員
7	課題の設定（1）	学修課題に関する資料収集について	演習を担当する教員
8	課題の設定と自己のキャリアデザイン	設定した学修課題と将来の進路について	演習を担当する教員
9	課題の設定（2）	学修課題に関する資料収集状況・課題に対する検討の進捗状況について	演習を担当する教員
10	課題の設定（3）	課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」について	演習を担当する教員
11	課題の設定（4）	課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」の報告について	演習を担当する教員
12	課題の設定及び課題の解決方法の検討	課題の「解決方法」の検討について	演習を担当する教員
13	課題の設定及び課題の解決方法の検討	課題の「解決方法」の検討・深化について	演習を担当する教員
14	課題の深化	課題の明確化と解決方法の具体化について	演習を担当する教員
15	まとめ	「臨床福祉専門演習」（プロジェクト演習）「卒業論文」（プロジェクト研究）の進め方とその学習に向けての準備（課題）について	演習を担当する教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーションの内容40%、 学修課題への取り組み状況60%により、総合的に評価する。

【教科書】

担当教員が必要に応じて指示します。

【参考書】

担当教員が必要に応じて指示します。

【備考】

「特別キャリアデザイン講座」に参加すること。

【学修の準備】

この授業では、これまでの学習成果を統合し、そこから生じた問題意識を明確化した上で出席すること。

予習：毎回、授業時に提示する内容に取り組むこと（80分間）。復習：毎回、授業時に提示する課題に取り組むこと（80分間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,4,5